

関西サッカー協会  
公式記録

会場責任者	主審サイン
世良記子	山本真緒

大会名	第26回関西高等学校女子サッカー選手権大会 兼 第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西大会	試合番号	④	開催日時	平成29年11月18日 (土) 15 : 30 キックオフ	競技時間	70分	記録者	森塚浩一	
会場	下鳥羽公園球技場	天候	晴	風	強弱	土	状態	良好	審判	主審 山本真緒氏 副審 A1 中川稜楠氏 A2 竹内秀豊氏

【チーム名】	八幡商業高等学校	kick off	0	前半	6	【チーム名】	大商学園高等学校	kick off	0	後半	4
先	0	延長前半		延長後半		先	0	延長前半		延長後半	
PK戦		PK戦		PK戦		PK戦		PK戦		PK戦	

シュート (得点者は*印)						シュート (得点者は*印)											
交代時間	延長後半	延長前半	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	前半	後半	延長前半	延長後半	交代時間	
分					3	宮川 明	1	GK	GK	1	見矢 明日香	1					分
分					3	濱野 つばさ	4	DF	DF	2	西垣内 由唯	3	1				HT
分					3	末永 千春	8	DF	DF	4	林 涼香	2	1	1			分
分					3	西倉 由依	11	DF	DF	10	林 かおる	3		** 2			分
分					3	高田 夏菜	3	MF	DF	18	富浪 千里	3	* 1	3			分
60分					2	高宮 千聖	17	MF	MF	5	日野 くるみ	2	1				46分
60分					2	木田 朱音	19	MF	MF	6	藤原 安佑	3	2	* 1			分
55分					1	村田 樹里	20	MF	MF	13	竹井 帆波	2	** 4	2			60分
55分					1	秋道 花音	21	MF	MF	14	井上 愛未	3	* 1				46分
分					3	堤 うらら	6	FW	FW	11	前川 望愛	2	* 1	1			分
分			1		3	畑 朱穂	10	FW	FW	15	西山 皐月	3	2				分

交代選手	分				2	深田 綾香	2	GK	GK	12	井上 沙季	2					分
21番	分				3	谷 菜月	7	DF	DF	3	根間 陽彩	2					分
20番	分				3	野田 響	14	DF	DF	25	森脇 梨華	3		2			分
番	分				2	大屋 菜々穂	16	MF	MF	7	高原 天音	1		2			分
17番	分				3	山内 美紗希	5	FW	MF	30	小野 真咲	3		* 1			分
19番	分				3	琴寿 このみ	9	FW	FW	9	水江 彩乃	2					分
番	分				2	田中 千遥	18	FW	FW	16	青木 柚香	1					分

小計	0	0	1	0	小計	1	合計	シュート数	合計	29	小計	14	15	0	0
警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計
分					13			8	5	GK	0	0			0
分					0			0	0	CK	11	4			15
分					7			6	1	直接FK	1	7			8
分					1			1	0	間接FK	1	0			1
分					0			0	0	PK	0	0			0

得点	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過
	1分	大商学園	竹井 帆波	井上 愛未	中1④-中1③S	分				
14分	大商学園	富浪 千里	林 涼香	中2④-左2⑧S	分					
24分	大商学園	OG		左2⑧↑OG	分					
29分	大商学園	井上 愛未	竹井 帆波	左CK⑧↑④HS	分					
31分	大商学園	井上 愛未	竹井 帆波	左1⑧↑中1④-中1③S	分					
35分	大商学園	前川 望愛	西山 皐月	右2⑥~右1-中1⑩S	分					
37分	大商学園	小野 真咲	藤原 安佑	中1⑩-中1⑥-中1⑧S	分					
38分	大商学園	林 かおる	前川 望愛	中1⑩-中1⑩S	分					
68分	大商学園	藤原 安佑	青木 柚香	中1⑩-中1⑥-中1⑥S	分					
70+3分	大商学園	林 かおる	藤原 安佑	中1⑥FK-中1⑩S	分					

(略号例) ~:ドリブル →:ゴロのパス ◯:浮球のパス H:ヘディング HS:ヘディングシュート X:混戦 S:シュート

戦評者氏名 ( ) 勤務先又は所属 ( )

両チーム4-4-2のシステムでゲームが開始される。八幡商業は前線の選手も含め全体で自陣に引き込んで中央・背後のスペースを消して、入ってきたボールに対して厳しい守備を展開する。全体でボール中心に守備をする姿勢・破られてもゴール前では身体を投げ出して守備をする姿勢はこのゲームに勝ちたいという思いがチーム戦術も含めて非常に伝わってくる。攻撃においてはゲームを通じて相手を意図的に引き込みながらもカウンター攻撃を打てる力・戦術行動も付けて行きたい。対する大商学園はテンポ良くボールを動かして、意図的にサイドチェンジを入れて相手をスライドさせて相手をずらしながら優先順位の中央を突いてクサビを打ち込んで3人目・4人目が関わりながら崩しに行く展開が続く。また、サイド攻撃からは数的優位を作りながら効果的なクロスを出しながらゴールへと迫る展開が続く。ボールコントロール・相手を見ながら、見ておくという部分ではとても優れており日常のトレーニングの中で培われていることが窺うことができてくる。前半戦は八幡商業も守備的に善戦するが、0-6で大商学園がリードで折り返す。後半戦に入り、八幡商業は戦い方を変えず引き込んだ守備から中央を固める。大商学園は更にゴール前の崩しに対してのクオリティが高まり、フットタッチプレーが増えて先手を取りに行く。フィニッシュの精度が高まればもう少し得点をできた場面であったが意図的な形でゴールを重ねた大商学園が後半にも4点を奪い、0-10で大商学園が選手権の切符を手にするとともに、準決勝戦へコマを進めた。最後までハードワークして、献身的に戦った両チームの健闘を称えたい。